

下水取付管の工事写真の撮影について

資料①

- ・この順番で、工事写真をとりとまとめて提出ください。
- ・取付管部分と接続ます部分は、分けてとりとまとめてください。

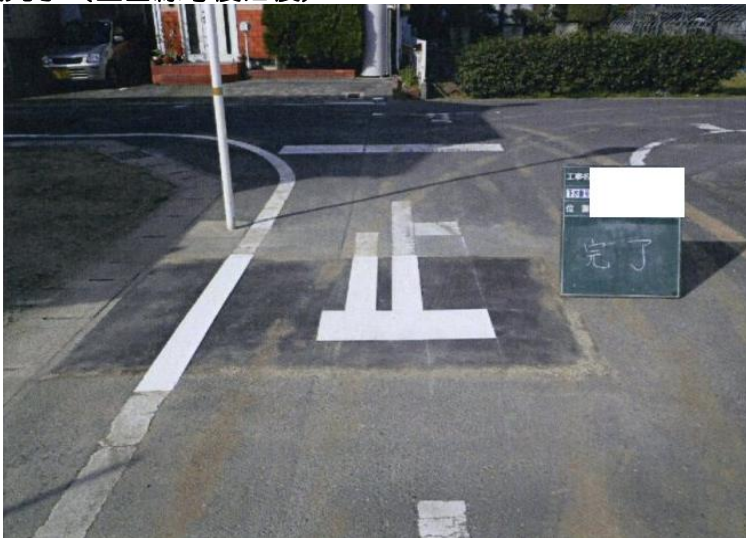
【工事写真(取付管)】

1.着手前



- ・取付管工事部分全体が分かるように 写してください。

2.完了（区画線等復旧後）



- ・工事部分全体が分かるように 着手前と同じアングルで写してください。
- ・区画線等復旧後や清掃後など、すべての作業が終了後に写してください。

3.舗装切断、切断汚泥回収



- ・舗装切断、切断汚泥の回収状況の写真を写してください。
- ・切断汚泥はしっかり回収してください。吸引機で回収できないような場合は、スポンジ等で回収してください。

4.既設舗装厚確認



- ・舗装を撤去した後で、既設舗装の厚さを計測尺をあてて撮影してください。

5.取付施工前(下水本管出幅、深さ)



本管出幅、深さ全景



本管出幅、深さ近景

- ・下水本管の出幅・深さが確認できるように計測尺または計測テープをあてて撮影してください。
- ・出幅は、申請地側官民境界から必ず計測して下さい。
- ・出幅の距離が長い場合、また本管の深さが深い場合等で、計測の部分が見えにくい場合は、全体写真と、計測の部分アップで写真撮影してください。黒板に下水管の出幅・深さを記載。
- ・掘削深が深い(1.5m以上)場合は土留工(矢板)が必要です。掘削壁面に適正に設置してください。

6.削孔完了



- ・支管接着する箇所の本管は汚れ等を取って、きれいにしておいて下さい。
- ・削孔片は必ず写すようにしてください。

7.支管接着剤塗布完了

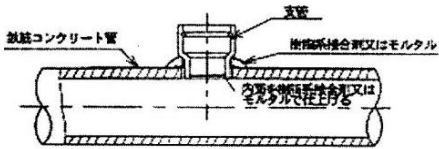


- ・接着剤の塗布量に注意してください。
(明らかに少量の塗布は避けてください。)
- ・道路面に直に支管を置くのはやめて、
何か敷き、その上に置いてください。

8.支管取付完了



- ・番線が確認できるように撮影ください。
- ・ヒューム管の場合で、基礎コンクリート
がヒューム管下に打っており、番線巻
が出来ない場合、接合剤またはモル
タルを充填して支管を接合してください。
【下図参照】



9.（取付管布設前）床掘完了



- ・次ページに注意事項記載

- ※・床掘完了(床均しを必ずすること)
- ・道路面からの深さを計測尺をあてて撮影してください。
- ・床掘の幅について、計測尺または計測テープをあてて撮影してください。→ 設計幅の55cm以上
- ・床掘幅の中心に取付管を必ず布設してください。
- ・仮に給水管と同時施工の場合で掘削幅が90cmあった場合、下水分の幅として55cmは最低確保した上でその中心に取付管を布設してください。下水分の幅の中に水道管は布設しないでください。下水(取付管)と、水道(給水管)との離隔は、原則30cm以上離して布設してください。

【設計土工標準図】



10.（取付管布設前）砂基礎完了



- ・床掘完了から10cm埋戻し、敷均し転圧完了後、計測尺をあてて道路面からの下がりを計測し撮影する
- ・道路面からの下がりを計測する場合は、必ずピンポール等を用いて、掘削左右の道路面に充て水平にしたうえで、計測尺をあてるようにしてください。
- ・敷き均し後、しっかり転圧してください。
- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・砂基礎について全ての面がが転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

11.取付管布設完了



- ・取付管の全体と土被りが確認できるように道路面からの下がりを計測尺をあてて撮影する
- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・管外径は、φ100mmですと114mmとなります。これを考慮して下がりを計測ください。
- ・黒板に計測数値を記載。

12.保護砂埋戻完了



- ・取付管の上に保護砂を管上10cmまで埋戻し、均して人力転圧を行う。
- ・道路面からの下がりを目測尺をあてて撮影する
- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・全ての面が転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

13.埋戻土転圧（1層目）



- ・転圧状況写真は、1層目だけ写真を添付してください。
- ・一層20cmピッチで転圧をすること。

14.転圧完了（1層目）



- ・道路面からの下がりを目測尺をあてて撮影する
- ・転圧は端までまんべんなく転圧すること。
- ・浮石がないようにしてください。
- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・全ての面が転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

15.管明示テープ



- ・基本管上30cmに設置してください。
- ・水道、ガス管があった場合も管明示テープを復旧しておいてください。

16.転圧完了（2層目）



- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・全ての面が転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

17.転圧完了（3層目）



- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・一般市道の場合は、300下がり路床完了。
- ・全ての面が転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

18.路盤1層目完了



- ・道路面からの下がり計測尺をあてて撮影する。
- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・全ての面が転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

19.路盤2層目完了



- ・道路面からの下がり計測尺をあてて撮影する。3cm下がり
- ・仮復旧の厚さとなるため、しっかり3cm確保して撮影してください。
- ・必ず同一地点で計測してください。
- ・全ての面が転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

20.舗装仮復旧完了



- ・仮復旧の幅、長さを計測テープで示して撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

21.路盤転圧完了



全景写真



拡大写真

- ・舗装厚に関係することから、必ず拡大写真を撮影してください。
- ・全ての面が転圧されてから撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

22.乳剤散布完了



- ・端までしっかりと散布してください。
- ・横の舗装切断面まで散布してください。
- ・全体が写るように撮影してください。
- ・側溝の側面にも塗布してください。

23.表層工完了



全景写真



拡大写真

- ・本復旧の幅、長さを計測テープをあてて撮影してください。
- ・数値が読みにくい場合は、アップで撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

24.区画線設置工(設置した場合)



- ・白線ラインに計測テープをあてて、延長を撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

25.カラー舗装工設置完了（設置した場合）



- ・カラー舗装した箇所の面積が分かるように、カラー舗装箇所の幅、長さを計測テープで示して撮影してください。
- ・黒板に計測数値を記載。

26.保安設備



- ・工事案内看板と誘導員を入れる。工事日は入れて撮影ください。
- ・工事箇所の起点、終点設置していれば、両方撮影してください。
- ・工事看板の施工者は、
〇〇設備 〇〇-〇〇〇〇としてください。
と業者名と電話番号を記載して下さい。

その他

- ※ 片側一車線の道路で、申請地から見ると反対の車線から取付管を施工するような場合は、半断面づつの施工写真(床掘→取付管布設→埋戻転圧→舗装復旧)をつけてください。
- ※ 水替、敷鉄板を行った場合は必ず別で写真をつけてください。
- ※ 隣接で複数取付管、接続ますを設置する工事の場合は、写真が隣と入れ違いにならないように、写真管理をしっかりとってください。
- ※ 写真を撮り忘れた工程があった場合は、工事写真の横の余白欄にその旨を記載しておいてください。
- ※ 工事写真の撮影は、この例を参考に撮影してください。
分かりやすく、計測部分が写真で確認できるように、また取付管、接続ます標準図等の基準で施工しているのが分かるように撮影ください。